

**中国四川省森林造成モデル計画
運営指導（計画打合せ）調査団報告書**

平成 13 年 4 月

**国際協力事業団
森林・自然環境協力部**

序 文

国際協力事業団は、中華人民共和国政府からの技術協力の要請を受け、平成12年7月から同国において四川省森林造成モデル計画を開始しました。

このたび当事業団は、本計画の今後の実行計画を協議・検討するため、平成13年1月10日から1月19日まで、農林水産省林野庁関東森林管理局東京分局計画第二部計画課長 井田篤雄氏を団長とする運営指導調査団を同国に派遣しました。調査団は中華人民共和国政府関係者や派遣専門家らと協議を行うとともに、プロジェクトサイトでの現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て調査結果を本報告書に取りまとめました。

今回の調査・協議の結果が本計画の協力目標達成に役立つとともに、この技術協力事業の実施が、今後の両国の友好・親善の一層の発展に寄与することを期待いたします。

終わりにこの調査にご協力とご支援をいただいた関係者の皆様に対し、心から感謝の意を表します。

平成13年4月

国際協力事業団
理事 後藤 洋

プロジェクト位置図



目 次

序文 地図

第1章 運営指導調査団派遣

1 - 1	調査の目的	1
1 - 2	調査活動内容	1
1 - 3	団員構成	1
1 - 4	調査日程	1
1 - 5	主要面談者	2

第2章 調査結果要約

2 - 1	調査結果総括	3
2 - 2	今後の対応	3

第3章 現地調査報告

3 - 1	流域の概要	4
3 - 2	造林地及び苗畑の概要	4

第4章 造林・苗畑計画の概要

4 - 1	造林計画	6
4 - 2	苗畑計画	7

第5章 今後の課題

5 - 1	気象害・生物害の克服	9
5 - 2	急傾斜地での造林技術及び適地・適木の確立	9
5 - 3	苗木供給体制の確立	9
5 - 4	郷土樹種の活用	9

< 附属資料 >

1.	協議議事録（モニタリング・評価計画書）（日・中）	11
2.	第1回合同委員会協議議事録（日・中）	41

附属資料

1. 協議議事録（モニタリング・評価計画書）（日・中）
2. 第1回合同委員会協議議事録（日・中）

中国四川省森林造成モデル計画に係る
日本の技術協力に関する日本側運営指導調査団と
中華人民共和国政府関係当局との協議議事録

国際協力事業団が組織し、井田篤雄を団長とする運営指導調査団（以下「調査団」という）は、中国四川省森林造成モデル計画（以下「プロジェクト」という）についてのプロジェクトデザインマトリクス（以下「PDM」という）、活動計画（以下「PO」という）及びモニタリング・評価計画書を策定することを目的として、2001年1月10日から1月19日までの日程で中華人民共和国を訪問した。

調査団は、中華人民共和国関係者と一連の協議を実施し、意見交換を行った。協議の結果、日中双方は以下に添付したPDM、PO、モニタリング・評価計画書について合意し、双方はそれぞれの政府に対し附属文書に記載する諸事項について勧告することに同意した。

本協議議事録は等しく正文である日本語、中国語による各々2通を作成した。

2001年 1月16日 四川省成都市



井田篤雄
日本国国際協力事業団
運営指導調査団長



金普春
中華人民共和国
国家林業局国際合作司副司長

モニタリング・評価計画書

作成年月日 2001 年 1 月 16 日

プロジェクト名	中国四川省森林造成モデル計画
プロジェクト期間	2000 年 7 月 1 日～2005 年 6 月 30 日
実施機関	四川省林業庁
プロジェクトディレクター	四川省林業庁長

I. プロジェクトの計画内容

- 1. プロジェクト・デザイン・マトリクス (PDM : 別添 1 のとおり)**
2000 年 4 月 18 日に署名された討議議事録 (R/D) 及び暫定実施計画 (TSI) に基づき、中国側カウンターパート、日本側専門家からの聞き取り及び関係各者との協議のうえ作成されたものである。なお、本表は日中双方の協議のもと、今後の進捗状況等に応じて見直すこととする。
- 2. 活動計画書 (PO : 別添 2 のとおり)**
2000 年 4 月 18 日に署名された討議議事録 (R/D) 及び暫定実施計画 (TSI) に基づき、中国側カウンターパート、日本側専門家からの聞き取り及び関係各者との協議のうえ作成されたものである。なお、本表は日中双方の協議のもと、今後の進捗状況等に応じて見直すこととする。

II. モニタリング・評価実施体制

- 1. モニタリング**
モニタリングの主目的は、現行のプロジェクトの実施・運営状況の改善のためにモニタリング結果をフィードバックすることであり、よって、モニタリング体制はプロジェクト構成員によって構築される。
各担当者は以下のとおりである。
(1) 責任者：プロジェクトマネージャー
(2) 各項目担当者：
 - 1) 別紙 1 「プロジェクト目標の達成度」：プロジェクトマネージャー
 - 2) 別紙 2 「成果達成状況」：プロジェクト弁公室主任
 - 3) 別紙 3 「活動進捗状況」：PO に「活動実施者」として記載されるもの
- 2. 評価**
中間評価及び終了時評価は、JICA から派遣される調査団と中国側評価調査団との「合同評価チーム」により実施される。中国側評価調査団の選出については、評価の 1 ヶ月前までになすこととする。

Gu

Ⅲ. モニタリング・評価実施スケジュール

実施時期	モニタリング・ 評価実施	実施者	報告方法
2000 / 4	R/D 締結		
2000 / 7	協力開始		
2001 / 1	モニタリング・評価計 画書(PDM、PO 含む)策 定	運営指導 (計画打合せ) 調 査団	協議議事録 (ミニッツ)
2001 / 7	第 1 回モニタリング	プロジェクトチーム	モニタリング報告書
2002 / 1	第 2 回モニタリング	プロジェクトチーム	モニタリング報告書
2002 / 7	第 3 回モニタリング	プロジェクトチーム	モニタリング報告書
2003 / 1	中間評価	合同評価チーム	協議議事録 (ミニッツ)
2003 / 7	第 4 回モニタリング	プロジェクトチーム	モニタリング報告書
2004 / 1	第 5 回モニタリング	プロジェクトチーム	モニタリング報告書
2004 / 7	第 6 回モニタリング	プロジェクトチーム	モニタリング報告書
2004 / 12	終了時評価	合同評価チーム	協議議事録 (ミニッツ)
2005 / 6	協力終了		

Ⅳ. モニタリング・評価項目

1. モニタリング項目

モニタリングにおける基準は、PO に記載の指標と基本的に同じである。プロジェクトの達成状況については、別添 3 の書式にそって報告される。

2. 評価項目

評価基準の概略及び調査項目例については、別添 4 に記載のとおりである。

井

Gu

プロジェクト名：中国四川省森林造成モデル計画
対象地域：四川省凉山彝族自治州会理縣

期間：2000年7月1日～2005年6月30日

作成日：2001年1月16日

外部条件

指標データ入手手段

省林業庁の統計

上位目標
四川省生態環境建設計画に基づき、安寧河流域において政府及び地域住民による森林活動が持続的に実施される。

安寧河流域の森林率が上昇し、四川省生態環境建設計画に掲げられた目標が達成される。

中国の生態建設政策が引継ぎ実施される

プロジェクト目標
安寧河流域の西昌市、喜徳県及び昭覺縣（以下「プロジェクト」という）において、自立的に森林活動を実施する基盤が形成される。

プロジェクトエリア内で、プロジェクトが関与した技術を用いた中国側（政府・訓練された技術者・住民）による造林面積が500ha以上となる。

四川省生態建設政策が引継ぎ実施される

成果
1 プロジェクトの自然条件・社会条件に適した造林用苗木の生産技術が開発される。

1-1 モデル苗圃における苗木率が80%以上となる。
1-2 年度別の苗木生産計画目標が達成される。
1-3 各種試験の結果が明らかになる。
1-4 苗木生産コストが低減される。

大規模な自然災害が発生しない

2 プロジェクトの自然条件・社会条件に適する、主に本土保全を目的とした造林技術が開発される。

2-1 プロジェクトによるモデル造林面積が600ha以上となる。
2-2 プロジェクト終了年度の造林木の成活率が75%以上となる。
2-3 造林木の保存率が70%以上となる。
2-4 各種試験の結果が明らかになる。

プロジェクト作成の苗圃マニュアル
報告書
プロジェクトの活動記録

3 育苗・造林活動を管理・実施・普及する技術者が養成される。

3-1 プロジェクトによる訓練活動を終了した技術者が延べ200人以上となる。
3-2 訓練終了者の現場での実践活動が活発になる。

プロジェクトによる訓練記録
訓練用教材
訓練終了者の活動調査記録

4 地域住民に森林保全の重要性が理解され、育苗・造林技術が普及される。

4-1 森林保全の重要性についての住民の認知度が上がる。
4-2 啓蒙・普及活動が促進される。
4-3 住民による自主的な造林が開発される。

啓蒙・普及資料
調査・分析記録
プロジェクトの活動記録

活動
1 造林用苗木生産技術の開発

1-1 モデル苗圃を造成する。
1-2 現地の自然条件・社会条件に適した、保土保林を主とする樹種の育苗技術を開発する。
1-3 種子の採集・貯蔵等の技術を開発する。

600/年
600/年
1800/年

2 造林技術の開発

2-1 モデル造林地を選定する。
2-2 モデル林を造成する。
2-3 現地の自然条件・社会条件に適した保土保林造成を主とする造林技術を開発・実施する。

1000/年
1200/年
3000/年
3500/年

3 技術者の訓練

3-1 プロジェクトは林業同等の技術者向けの訓練用教材を作成する
3-2 プロジェクトは林業同等の技術者に対し、育苗・造林・普及等の訓練を行う。

専任専門家
育苗
造林
訓練普及
事務員・運転手・その他
兼任専門家
育苗・造林・訓練普及

4 地域住民への普及

4-1 地域住民の森林・林産物の利用状況、森林に対するニーズを調査する
4-2 地域住民に対する森林保全についての啓蒙活動を実施する
4-3 地域住民に対する育苗・造林技術普及用の教材を作成する
4-4 地域住民に対する育苗・造林技術の普及活動を実施する

事務員・運転手・その他
兼任専門家
育苗・造林・訓練普及
土地・施設
プロジェクト事務員
苗圃用地
造林用種
訓練施設
プロジェクト運営管理費

5 現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

研修員受入
0-1000/年度
現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

プロジェクト運営管理費
造林費

6 現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

研修員受入
0-1000/年度
現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

プロジェクト運営管理費
造林費

7 現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

研修員受入
0-1000/年度
現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

プロジェクト運営管理費
造林費

8 現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

研修員受入
0-1000/年度
現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

プロジェクト運営管理費
造林費

9 現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

研修員受入
0-1000/年度
現地適用化事業費、中間技術者養成研修費等

プロジェクト運営管理費
造林費

* 成活率：植栽3年後に残存する苗木の割合で、中国側の規定に基づく用語であり、植栽年も含むものである。

96

活動実施計画(技術者の訓練)

活動	期待される結果	スケジュール												責任者	活動実施者	資機材	備考	
		2000		2001		2002		2003		2004								
		7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4					
3-1 プロジェクトエリア林業局等の技術者向けの教材作成															四川省林業庁、涼山州林業局	日中専門家	パソコン等	
3-1-1 訓練対象の調査																		
3-1-2 訓練項目の検討、計画策定																		
3-1-3 訓練教材の作成																		
3-1-3-1 育苗技術教材の作成	訓練用教材																	
3-1-3-2 造林、育林技術教材の作成																		
3-1-3-4 普及技術教材の作成																		
3-2 プロジェクトエリア林業局等の技術者に対して、育苗、造林、普及等の訓練を行う															四川省林業庁、涼山州林業局	日中専門家	車輜、視聴覚機器等	
3-2-1 訓練計画作成																		
3-2-1-1 訓練全体計画の作成																		
3-2-1-2 訓練年度計画の作成																		
3-2-2 訓練体制確立																		
3-2-2-1 訓練カリキュラム作成	訓練カリキュラム																	
3-2-2-2 訓練実施要領制定																		
3-2-3 訓練実施																		
3-2-3-1 幹部訓練																		
3-2-3-2 技術者訓練																		
3-2-3-2-1 育苗訓練実施																		
3-2-3-2-2 造林育林技術訓練																		
3-2-3-2-3 普及方法訓練実施																		
3-2-4 訓練成果の評価																		
3-2-4-1 普及活動調査	訓練活動報告書																	
3-2-4-2 活動実績集約																		

活動実施計画(地域住民への普及)

活動	期待される結果	スケジュール												活動実施者	資機材	備考	
		2000		2001		2002		2003		2004		責任者					
		7	10	1	4	7	10	1	4	7	10		1				4
4-1 地域住民の森林・林産物の利用状況、森林ニーズに対する調査	調査分析書														四川省林業庁、涼山州林業局	車輜、パソコン等	
4-1-1 現地調査、資料分析																	
4-1-2 普及計画作成																	
4-1-2-1 全体計画作成																	
4-1-2-2 年度計画作成																	
4-1-3 普及成果の評価																	
4-1-3-1 指標農家の調査																	
4-1-3-2 モデル造林地域の造林実施状況調査																	
4-2 地域住民に対する森林保全についての啓蒙活動の実施																四川省林業庁、涼山州林業局	ビデオ、カメラ等
4-2-1 啓蒙活動計画作成																	
4-2-1-1 全体計画作成																	
4-2-1-2 年度計画作成																	
4-2-2 啓蒙活動実施	活動実施報告書																
4-2-2-1 各種コンテスタの実施																	
4-2-2-1-1 半量絵画コンクール																	
4-2-2-1-2 林業青年論文コンテスト																	
4-2-2-1-3 報道雑誌ニューズコネクト																	
4-2-2-1-4 造林技術コンテスタ																	
4-2-3 啓蒙資料の作成	啓蒙普及教材																
4-2-3-1 ビデオ作成																	
4-2-3-2 緑化カレンダー作成																	

96

活動実施計画(地域住民への普及)

活動	期待される結果	スケジュール												責任者	活動実施者	資機材	備考				
		2000 7/10	2000 4/7	2001 10/1	2001 4/7	2002 10/1	2002 4/7	2003 10/1	2003 4/7	2004 10/1	2004 4/7	2005 10/1	2005 4/7								
4-3 地域住民に対する育苗・造林技術普及教材を作成する	普及教材																四川省林業庁、涼山州林業局	日中専門家	パソコン等		
4-3-1普及教材作成計画																					
4-3-2普及教材の作成																					
4-3-2-1森林の効用教材																					
4-3-2-2有用造林樹種教材																					
4-3-2-3育苗技術教材																					
4-3-2-4造林育林技術教材																					
4-4地域住民に対する育苗・造林技術の普及活動を実施する。																					
4-4-1普及教材の配布																					
4-4-2市、県林業局指導	普及活動実施報告書																				
4-4-2-1巡回指導																					
4-4-2-2現地講習会実施																					
4-4-3モデル農家育成																					
4-4-3-1グループ活動の推進																					
4-4-3-2造林技術実践林造成	農民自主造林																				

92

モニタリング報告書 (第 回)

プロジェクト名:

プロジェクト実施期間:

<u>プロジェクトマネージャー コメント</u>	サイン _____
	日付: _____
<u>プロジェクトディレクター コメント</u>	サイン _____
	日付: _____
<u>チーフアドバイザー コメント</u>	サイン _____
	日付: _____

*JICA は上記のコメント・要望等に対し、必要に応じ対応する。

モニタリング報告第 回
(プロジェクト目標の達成度)

日付：

*効果的な評価のために、プロジェクト目標に対する指標については定期的にモニタリングすることが求められる。

プロジェクト目標 (記載)	<達成状況>
計画と比して、上記プロジェクト目標達成状況が早期である/遅滞ある場合には、以下のそれぞれの要因について分析し、原因を検討する。	
成果達成状況レベル	
外部条件・前提条件における変化	<成果→プロジェクト目標の外部条件>
	<活動→成果の外部条件>
	<前提条件>
推奨される対策	

モニタリング報告第 回
 (成果達成状況)

日付:

(記載者名:)

成果 (番号) <計画> (成果及び指標の記載; 各成果ごとに1枚)	<達成状況>
計画と比して、上記成果達成状況が早期である/遅滞ある場合には、以下のそれぞれの要因について分析し、原因を検討する。	
各活動の進捗状況	
外部条件・前提条件における変化	<活動→成果の外部条件> <前提条件>
推奨される対策	

モニタリング報告第 回
(活動進捗状況)

日付:

(記載者名:)

<p>活動(番号) 〈計画〉 (活動及び指標の記載;各活動ごとに1枚)</p>	<p>〈進捗状況〉</p>
<p>計画と比して、上記活動進捗状況が早期である/遅滞ある場合には、以下のそれぞれの要因について分析し、原因を検討する。</p>	
<p>前提条件</p>	
<p>投入(機材・専門家・研修・予算等)</p>	
<p>その他の要因</p>	
<p>推奨される対策</p>	

モニタリング報告 第 回
(問題及び対策)

日付:

プロジェクト名:

問題	対策
(具体的な問題の記載)	プロジェクトでの対策 (中国側)
	プロジェクトでの対策 (日本側)
	JICA への要望

評価項目

1 計画達成度

プロジェクトの計画がどこまで達成できているか、上位目標、プロジェクト目標、成果、活動ごとに把握する。なお、日中双方の本プロジェクトへの投入量についても同様に把握する。

2 評価5項目による分析

2-1 効率性

「投入」が「成果」にどのようにどれだけ転換されたかを分析する。投入された資源の質・量・手段・方法・時期の適切度を検討し、実施過程における効率性を把握する。

2-2 目標達成度

「成果」によって「プロジェクト目標」がどの程度達成されたか、もしくは達成される見込みであるかを検討する。

2-3 インパクト

プロジェクトが実施されたことにより生ずる直接的・間接的な正負の影響を検討する。計画当初に予想されなかった影響や効果も含む。

2-4 妥当性

プロジェクトの当初目標の設定が評価時点においても妥当であるのか、「プロジェクト目標」「上位目標」はプロジェクトの目標として意味があるか、プロジェクト実施の正当性があるか検討する。

2-5 自立発展性

日本側協力が終了した後もプロジェクト実施の便益が持続されるかどうか、プロジェクトの自立度を中心に検討する。

中方政府有关部门与日方运营指导调查团
关于“中国四川省示范林营造项目”技术合作的会谈纪要

由日本国际协力事业团组织、以井田篤雄为团长的日方运营指导调查团（以下称“调查团”）以为制定四川省示范林营造项目（以下称“项目”）的项目设计矩阵（以下称“PDM”）、活动计划（以下称“PO”）以及检查评估计划为目的自2001年1月10日至1月19日访问了中华人民共和国。

调查团与中华人民共和国有关人员进行了一系列的协商并交换了意见。中日双方对附件的PDM、PO、以及检查评估计划达成一致意见，并同意按附件内容向各自政府提出建议。

本文件用中文和日文写成、各两份、具有同等效力。

于四川成都 2001年1月16日



金 普春
中华人民共和国
国家林业局国际合作司
副司长



井田 篤雄
日本国际协力事业团
运营指导调查团
团长

检查·评估计划

制作时间2001年 1月16日

项目名称	中国四川省示范林营造项目
项目期间	2000年7月1日 ~ 2005年6月30日
实施单位	四川省林业厅
项目总负责人	四川省林业厅长

I. 项目计划

1. 项目设计矩阵(PDM-附件1)

根据2000年4月18日签署的会谈纪要(R/D)以及实施计划草案(TSD),在听取中方对口专家和日方专家的意见以及与有关人员协商后制定。根据项目进展情况,经中日双方协商,该表今后有可能重新调整。

2. 活动计划(PO-附件2)

根据2000年4月18日签署的会谈纪要(R/D)以及实施计划草案(TSD),在听取中方对口专家和日方专家的意见以及与有关人员协商后制定。根据项目进展情况,经中日双方协商,该表今后有可能重新调整。

II. 检查评估实施体制

1. 检查

检查的主要目的是改善项目执行状况、反馈检查结果。为此,由项目成员构成检查体制。

项目检查体制由以下人员组成:

(1) 负责人:项目执行主任

(2) 以下内容的负责人:

1) 项目执行主任:填写附页1的“项目目标完成程度”

2) 项目办公室主任:填写附页2的“成果完成程度”

3) PO注明的项目执行人:填写附页3的“活动进展情况”

2. 评估

项目中期评估和终了评估由以JICA派遣的日方评估调查团和中方评估调查团构成的联合评估调查团进行。中方评估调查团应在评估开始前一个月组成。

III. 检查评估实施日程

时间	检查评估内容	执行单位	报告方法
2000年4月	签署 R/D 实施协议		
2000年7月	合作开始		
2001年1月	制定检查评估计划书 (包括 PDM, POI)	运营指导调查团	协商纪要
2001年7月	第 1 次检查	项目小组	检查报告书
2002年1月	第 2 次检查	项目小组	检查报告书
2002年7月	第 3 次检查	项目小组	检查报告书
2003年1月	中期评估	联合评估调查团	协商纪要
2003年7月	第 4 次检查	项目小组	检查报告书
2004年1月	第 5 次检查	项目小组	检查报告书
2004年7月	第 6 次检查	项目小组	检查报告书
2004年12月	终评估	联合评估调查团	协商纪要
2005年6月	合作结束		

IV. 检查评估内容

1. 检查内容

检查标准与 PO 指标基本相同。有关项目的完成情况，按附件 3 格式报告。

2. 评估内容

评估要求以及调查内容见附件 4。

项目的概要	指标	指标数据的来源	外部条件
<p>最终目标 根据四川省生态环境建设规划,各级地方政府以及该地区人民在安宁河流域进行持续性的造林活动。</p> <p>项目目标 在安宁河流域的西昌市,喜德县及昭觉县(以下称“项目区”)形成当地居民独立开展造林活动的基础。</p> <p>项目成果 1. 开发适于项目区的自然条件,社会条件的造林用苗木的生产技术。 2. 开发适于项目区的自然条件,社会条件的,以保持水土为目标的造林技术。 3. 培育出管理,实施和推广育苗,植树造林活动的技术人员。 4. 使当地居民理解保护森林的重要性,普及推广育苗及造林技术。</p>	<p>安宁河流域的森林覆盖率提高,达到四川省生态环境建设规划的目标。 在项目区用项目开发出的技术中方(政府,受过培训的技人员,居民)营造林面积500公顷以上。</p> <p>1-1 项目苗圃的得苗率80%以上 1-2 达到年度苗木生产计划目标 1-3 明确试验结果 1-4 降低苗木造价</p> <p>2-1 项目的示范林面积500公顷以上 2-2 项目结束年度的成活率75%以上 2-3 造林保存率70%以上 2-4 明确试验结果</p> <p>3-1 结业于项目培训的人员200人次以上 3-2 惠及被培训者当地未栽活动</p> <p>4-1 提高当地居民对森林保护的重要性的认识 4-2 促进宣传普及活动的开展 4-3 当地居民自发开展植树造林</p>	<p>省林业厅的统计</p> <p>州林业局的统计 项目的活动记录</p> <p>项目制作的苗圃技术指南 报告书 项目的活动记录</p> <p>项目制作的造林技术指南 报告书 项目的活动记录</p> <p>项目的培训记录 培训教材 被培训者的活动调查记录</p> <p>宣传普及普及及推广资料 调查·分析记录 项目的活动记录</p>	<p>中国的生态建设政策继续实行</p> <p>四川省的生态建设政策继续实行</p> <p>没有发生大规模的自然灾害</p>
<p>项目活动内容 1 开发造林用苗木的生产技术 1-1 建设示范苗圃 1-2 开发适于项目区的自然条件,社会条件的以营造防护林为主要目的的育苗技术 1-3 种子的采集和贮藏等技术 2 开发造林技术 2-1 选定示范林造林地 2-2 营造示范林 2-3 开发和实际验证适于当地自然条件,社会条件的以营造防护林为主的造林技术 3 培训技术人员 3-1 编写针对项目区林业局等技术人员的地训教材 3-2 对项目区林业局等的技术人员进行造林,育苗,普及推广等的培训 4 向当地居民的普及推广 4-1 对当地居民的森林,林产品利用情况以及森林的需求进行调查 4-2 对当地居民进行有关森林保护的宣传教育活动 4-3 编写针对当地居民的育苗,造林技术普及推广教材 4-4 对当地居民普及推广育苗,造林技术</p>	<p>且立 人才 长期专家 首席顾问 协调员 育苗 造林 培训普及 短期专家(根据需要进行) 苗圃设计·核算 造林 调查分析 器材 车辆,测量仪器,气象设备,摄像·办公设备等 接收维修员 部分配套资金 现场适应化事业费 中坚技术人员培训费等</p> <p>60M/M 60M/M 60M/M 60M/M 60M/M</p>	<p>人 人才 项目总负责人 60M/M 项目执行主任 60M/M 项目执行副主任 180M/M 专职人员 180M/M 育苗 120M/M 造林 300M/M 知识推广 360M/M 办公人员·司机·其他人 5名 兼职人员 项目协调员 3名 育苗,造林,地训普及 11名 土地·设施 项目办公室 苗圃用地·示范林地 培训设施 配套资金 项目管理费 造林费</p>	<p>没有发生大规模的自然灾害 能保证种子调动 能保证造林地</p> <p>前提条件 当地农民不反对项目的实施</p>

检查报告 (第 次)

项目名称：

项目实施期限：

<u>项目执行主任意见</u>
签字 _____
日期 _____
<u>项目总负责人意见</u>
签字 _____
日期 _____
<u>日本首席顾问意见</u>
签字 _____
日期 _____

* JICA 针对上述意见和要求，根据需求采取相应措施。

检查报告(第 次)

(项目目标完成程度)

日期:

* 为了进行有效的评估, 对项目目标的指标进行定期检查。

项目目标	〈完成情况〉
对照计划, 如果项目目标提前或延迟完成, 应就下列因素进行分析并研究其原因。	
成果完成情况	
外部条件和前提条件发生的变化	〈成果→项目目标的外部条件〉
	〈活动→成果的外部条件〉
	〈前提条件〉
建议采取的对策	

检查报告(第 次)

(成果完成情况)

日期:
(填写人姓名)

成果(编号) 〈计划〉 (填写成果以及指标, 每项 成果 1 份)	〈完成情况〉
对照计划, 如果项目目标提前或延迟完成, 应就下列因素进行分析并研究其原因。	
活动(专题)的进展情况	
外部条件和前提条件发生 的变化	〈活动→成果的外部条件〉
	〈前提条件〉
建议采取的对策	

检查报告(第 次)

(活动进展情况)

日期：
(填写人姓名)

活动(编号) 〈计划〉填写活动(专题) 及指标, 每项活动(专题) 1份。	〈完成情况〉
对照计划, 如果项目目标提前或延迟完成, 应就下列因素进行分析并研究其原因。	
前提条件	
投入(器材, 专家, 进修, 预算等)	
其它因素	
建议采取的对策	

检查报告(第 次)

(问题及对策)

日期：

项目名称：

问题	对策
填写存在的 具体问题)	项目采取的对策(中方)
	项目采取的对策(日方)
	对 J I C A 的要求

抄

Gi

评估内容

1. 计划完成程度

从最终目标、项目目标、成果、每项活动(专题)的完成情况、以及中日双方对本项目的投入等几个方面评估项目计划的完成程度。

2. 按照下列五项内容进行评估分析

2-1 效率性(效果)

分析“投入”如何、有多少转化为“成果”。检查投入的质、量、手段、方法和时间是否适当，并考虑实施过程中的效益。

2-2 目标完成程度

根据取得的“成果”检查“项目目标”的完成程度，或者预测可以完成的程度。

2-3 影响

研究项目的实施所产生的直接、间接的正面 / 负面影响，包括在制定计划时未预料到的影响和效果。

2-4 妥当性

研究项目当初目标的设定在评估阶段保持妥当性，检查“项目目标”和“最终目标”作为项目目标是否有意义，项目实施是否合理。

2-5 独立发展能力

中方与日方合作结束后，是否也能保持项目实施的有利条件，以项目的独立发展能力为中心进行检查评估。

中国四川省森林造成モデル計画プロジェクト
第1回合同委員会協議議事録

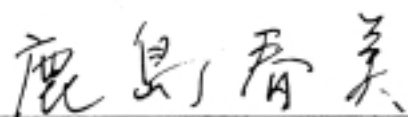
中国四川省森林造成モデル計画（以下「プロジェクト」という）に関し、2000年4月18日に日中双方で合意した討議議事録（R/D）にもとづき、プロジェクトの活動実施状況と、今後の活動計画の確認を行うため、2001年1月16日に中国四川省成都市において第一回合同委員会を開催した。

合同委員会において、プロジェクトの有効な実施のための課題等につき一連の協議をおこなった。

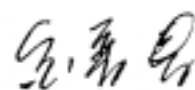
協議の結果、付属文書に記載する内容を確認し合意した。

当協議議事録は、等しく正文である日本語及び中国語による本書各々2通を作成した。

2001年1月16日 成都にて



日本国国際協力事業団
中国四川省森林造成モデル計画
チーフアドバイザー 鹿島春美



中華人民共和国
国家林業局国際合作司
副司長 金 普春

付属文書

国家林業局国際合作司副司長の招集により、中国四川省森林モデル計画の第一回合同委員会が、2001年1月16日成都に開催された。協議内容は下記のとおり。

記

1. 運営調査団と中国側関係部門との協議内容（別添1参照）

運営指導調査団長井田篤雄より、調査団と中国側関係部門との協議経過及びミニッツの内容を報告し、委員会はこれを了承した。

特記事項：活動内容及びプロジェクト実施機関の追加

(1) 1-3 種子の採集及び貯蔵等の技術を開発する

(2) 涼山州林業科学研究所

プロジェクトサポーター 涼山州林業科学研究所長

2. プロジェクト開始から現在までの実施状況（別添2参照）

涼山州プロジェクト弁公室楊利民主任より、2000年7月1日から現在までの実施状況及び2001年3月31日までの実施計画について報告し、委員会はこれを確認した。

3. 2001年度の活動実施計画（別添3参照）

日本専門家チームチーフアドバイザー鹿島春美より、2001年度の実施計画について報告し、委員会はこれを承認した。

別添1 ミニッツ（案）

別添2 プロジェクト実施状況表（2000年7月1日～2001年3月31日）

別添3 プロジェクト実施計画（2001年4月1日～2001年3月31日）

四川省森林造成モデル計画実施状況
(2000年7月1日～2001年3月31日)

	2000.7～9	2000.10～12	2001.1～3
日本側投入			
1 長期専門家			
・ チーフアドバイザー	←		→
・ 業務調整	←		→
・ 苗畑	←		→
・ 造林	←		→
・ 訓練・普及	←		→
2 短期専門家			
・ 苗畑設計		↔	
・ 苗畑施工管理			↔
・ 造林			
3 カウンターパート研修 (2名)		↔	
4 機材供与	←		→
中国側投入			
1 カウンターパート	←		→
2 プロジェクトオフィス	←		→
3 車両等の交通手段	←		→
4 事務職員 (通訳、秘書、運転手)	←		→
詳細活動計画			
1 苗畑分野			
モデル苗畑の造成 (モデル、試験)		← 設計	→ 施工
育苗技術の開発			
苗木生産計画作成	←		→
苗木生産	← 準備	苗木	生産 →
各種試験			←
種子採取・貯蔵技術の開発		←	→
2 造林分野			
モデル造林地の選定	←		→
造林計画の策定	←		→
年度別造林計画	← 選定	← 測量	← 設計説明書
モデル林の造成			← 地拵え
造林技術の開発・実証		← 計画	← 実行
3 訓練分野			
教材の作成		← 訓練対象調査	← 教材作成
訓練の実施		← 計画作成	←
4 普及分野			
森林利用状況・ニーズの調査	←		→
普及計画の策定	←		→
ニーズ調査		← 調査	← 分析
啓蒙活動の実施	← 計画	ビデオ製作・各種コンクール	←
教材の作成	← 計画	啓蒙小冊子・技術普及小冊子	←
普及活動の実施			

四川省森林造成モデル計画実施計画
(2001年4月1日～2002年3月31日)

	2001.4～6	2001.7～9	2001.10～12	2002.1～3
日本側投入				
1 長期専門家				
・ チーフアドバイザー	←			→
・ 業務調整	←			→
・ 苗畑	←			→
・ 造林	←			→
・ 訓練・普及	←			→
2 短期専門家				
・ 苗畑			←	→
・ 造林			←	→
・ 社会調査分析		←	→	
3 カウンターパート研修	⇄	⇄	⇄	
4 機材供与	←			→
中国側投入				
1 カウンターパート	←			→
2 プロジェクトオフィス	←			→
3 車両等の交通手段	←			→
4 事務職員(通訳、運転手)	←			→
詳細活動計画				
1 苗畑分野				
育苗技術の開発	←			→
苗木生産	←			→
各種試験	←			→
種子採取・貯蔵技術の開発	←			→
2 造林分野				
モデル造林地の選定	←	←	←	←
モデル林の造成		←	←	←
造林技術の開発・実証	←			→
3 訓練分野				
教材の作成	←			→
訓練の実施	←	←	←	←
4 普及分野				
森林利用状況・ニーズの調査	←	←	←	←
啓蒙活動の実施	←	←	←	←
教材の作成	←	←	←	←
普及活動の実施	←	←	←	←
5 その他				
植樹際	■			

中国四川省示范林营造项目

第一次联合协调委员会会议纪要

根据 2000 年 4 月 18 日中日双方签署的会谈纪要 (R/D), 为了对中国四川省示范林营造项目 (以下简称项目) 的工作实施情况和今后工作的计划进行确认, 于 2001 年 1 月 16 日在中国四川省成都市召开了第一次联合协调委员会会议。

为了保证项目今后的有效实施, 联合协调委员会对有关问题进行了认真的讨论。

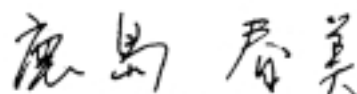
经过讨论, 会议对附件的内容达成了一致意见, 并于确认, 现纪要于后。

本纪要用中文和日文书就, 一式两份, 具有同等效力。

2001 年 1 月 16 日于成都



中华人民共和国
国家林业局国际合作司
副司长 金 普春



日本国国际协力事业团
中国四川省示范林营造项目
首席顾问 鹿岛春美

附 件

中国国家林业局国际合作司副司长召集中国四川省示范林营造项目联合协调委员会成员，于2001年1月16日在成都召开了第一次联合协调委员会会议。会议的主要内容如下：

1、 日本国运营指导调查团与中国有关部门协商的内容（见附1）

运营指导调查团团长井田篤雄报告了调查团与中国有关部门进行协商的经过和协议的内容，联合协调委员会对此予以确认。

特别事项：增加了 R/D 的活动内容和项目执行单位

① 1-3 开发种子的采集及贮藏等技术

② 四川省凉山州林科所为项目执行单位，所长为项目执行副主任

2、 项目开展以来的工作情况（见附2）

凉山州项目办公室主任杨利民报告了2000年7月1日以来项目实施的情况以及直至2001年3月31日的工作计划，联合协调委员会对此予以了肯定。

3、 2001年度的活动实施计划（见附3）

日本专家组首席顾问鹿岛春美报告了2001年度项目实施的计划，联合协调委员会对此也予以确认。

附1 调查团会谈纪要

附2 项目实施情况表（2000年7月1日-2001年3月31日）

附3 项目实施计划表（2001年4月1日-2002年3月31日）

四川省示范林营造项目实施情况总结
(2000年7月1日~2001年3月31日)

	2000.7~9	2000.10~12	2001.1~3
日本方面投入			
1 长期专家			
. 首席顾问	←-----→		
. 业务协调	←-----→		
. 苗圃	←-----→		
. 造林	←-----→		
. 培训普及	←-----→		
2 短期专家			
. 苗圃设计		←-----→	
. 苗圃施工管理			←-----→
. 造林			
3 对口专家进修(2名)		↔	
4 提供器材	←-----→		
中国方面投入			
1 对口专家	←-----→		
2 项目办公室	←-----→		
3 车辆等交通工具	←-----→		
4 办公人员(翻译、秘书、驾驶员)	←-----→		
详细工作计划			
1 苗圃部分			
示范苗圃修建(示范、试验)		←-----设计-----→	←-----施工-----→
育苗技术开发			
苗木生产计划制订	←-----→		
苗木生产	←-----准备-----→	←-----苗木-----→	←-----生产-----→
各种试验			←-----→
种子采集、贮藏等技术开发		←-----→	
2 造林部分			
示范林造林地选定	←-----→		
造林计划制订	←-----→		
年度造林规划	←-----选地-----→	←-----测量-----→	←-----设计说明书-----→
示范林营造			←-----整地-----→
造林技术开发、验证		←-----计划-----→	←-----实施-----→
3 培训部分			
教材制作		←-----培训对象调查-----→	←-----教材制作-----→
培训实施		←-----计划制订-----→	
4 普及部分			
森林利用现状及需求调查	←-----→		
普及计划制订	←-----→		
需求调查		←-----调查-----→	←-----分析-----→
宣传教育活动实施	←-----计划-----→	←-----电视专题片摄制、各种比赛活动-----→	
教材制作	←-----计划-----→	←-----宣传教育、技术普及推广小册子-----→	
普及推广活动实施			

四川省示范林营造项目实施计划
(2001年4月1日—2002年3月31日)

	2001.4~6	2001.7~9	2001.10~12	2002.1~3
日本方面投入				
1 长期专家	←—————→			←—————→
. 首席顾问	←—————→			←—————→
. 业务协调	←—————→			←—————→
. 苗圃	←—————→			←—————→
. 造林	←—————→			←—————→
. 培训普及	←—————→			←—————→
2 短期专家			←————→	
. 苗圃			←————→	
. 造林			←————→	
. 社会调查分析		←————→		
3 对口专家进修	⊞	←————→	←————→	
4 提供器材	←—————→			←—————→
中国方面投入				
1 对口专家	←—————→			←—————→
2 项目办公室	←—————→			←—————→
3 车辆等交通工具	←—————→			←—————→
4 办公人员(翻译、驾驶员)	←—————→			←—————→
详细工作计划				
1 苗圃部分				
育苗技术开发				
苗木生产	←—————→			←—————→
各种试验	←—————→			←—————→
种子采集、贮藏等技术开发	←—————→			←—————→
2 造林部分				
示范林造林地选定	←选地→	←选地→	←测量→	←设计说明书→
示范林营造		←栽植→	←抚育、管理→	←整地→
造林技术开发、验证				
3 培训部分				
教材制作	←—————→			←—————→
培训实施	←准备→	←实施→	←准备→	←实施→
4 普及部分				
森林利用现状及需求调查	←—————→	←调查→	←分析→	←—————→
宣传教育活动实施	←—————→	←电视专题片摄制、各种比赛活动→		←—————→
教材制作	←—————→	←宣传教育、技术推广普及推广小册子→		←—————→
普及推广活动实施	←—————→	←巡回指导、示范农户→		←—————→
5 其他				
造林开工典礼	■			